

## 研修履歴

- 省吾さん
- 2008.09. 新農業人フェア（東京）で相談
  - 10. 新農業人フェア（札幌）で相談
  - 10. 短期農業体験（15日間）
  - 2009.04. 長期農業体験（1年間）
  - 2010.04. 従業員として農業法人就職
  - 2013.09. 独立就農（就農時36歳）



「自分の思い描いていた農業のイメージに、北海道が合っていた」

## 経営規模

農地 0.8ha  
施設 ビニールハウス 120坪 × 8棟  
作物 トマト・春レタス  
農業従事者 本人、妻（尚美さん）

## 住宅

市街地の賃貸住宅（一軒家）  
圃場から約4km



■ 神奈川県生まれ、福島県育ちの省吾さんは、もともと北海道に興味があり、北海道の大学へ入学。受験のときに初めて北海道に来たのだそう。

■ 大学時代は農業に携わる機会はなく、卒業後、ワーキングホリデーでニュージーランドへ行った時にアルバイトで農作業を体験。

■ その後は、イギリス、アメリカ、アフリカ、東南アジアと多国に渡り、途上国の貧困問題に取り組む国際協力に参加し、ソロモン諸島では、南太平洋に於ける持続的農業の技術研修を行った。

■ 20代でいろんな国でいろんな活動をされてきた佐藤さんですが、いつ頃から農業を始めようと考え出したのでしょうか？

■ 省吾さん「30代になって、生活の基盤をつくりたいと思って。」

■ 各国いろんな農業を見てきたことも、

農業を始めるきっかけのひとつになっているのでしょうか？

■ 省吾さん「そうですね。途上国でもどの国でも農業はなくてはならないものだから。」

■ 農業を始める決意をし、平成20年秋、農業相談会「新農業人フェア」東京会場、札幌会場へと足を運んだ。

■ 相談会の翌月にはむかわ町にて15日間の短期農業体験を行い、その後、四国での農業体験を1ヶ月間行った。

■ 九州か北海道で農業を始める場所に迷っていたという省吾さん。

■ 省吾さん「自分の思い描いていた農業のイメージに、北海道が合っていた。やっぱり農地の広さが全然違います。」

■ 改めて北海道の大きさを再確認したそう。

■ 北海道内でもたくさんさんの市町村が集まる中から、なぜむかわ町に決められたのでしょうか？

■ 省吾さん「気候がいい、通年型栽培が出来る、空輸・JR等の交通の便がいい、就農支援が手厚い、単身でも受け入れてくれた...といったところでしょうか。」

■ 平成21年の春から1年間の長期農業体験を行い、長期農業体験終了した翌年、そのまま従業員として農業法人就職した。平成23年には、むかわ町出身の尚美さんと結婚。

■ 省吾さんの場合は、長期農業体験後に農業法人就職の経験があったため、実践型研修農場での研修はまたがず平成25年9月、尚美さんと共に独立。

■ 尚美さんのご両親は現在も農業をされており、省吾さんとの結婚前も家のお手伝いをしていたため、すんなり農家のお嫁さんとしてとけ込めたそう。

■ 尚美さんのほうが省吾さんよりもキャリアがあるので、先輩ですね。

省吾さん「尚美さんの）妊娠・出産・育児期間のプランクがあったので、今は俺のほうが先輩です（笑）」

■ 尚美さんの妊娠・出産・育児の期間は、パートさんを2人と省吾さんの3人で管理されていたそうですが、来年（平成27年）からは、長女・すずちゃんに続いて、長男・敢太くんを保育園へ預け、尚美さんも復帰しましたご夫婦2人でやられるとのこと。

■ ご夫婦での農業経営の魅力とは、どんなことでしょうか？

■ 省吾さん「農業は日の出から日の入りまでが仕事。家族との時間を大事にしているの、夏場の忙しい時期でも夜7時には家に帰って、家族と過ごす時間をつくることできます。」

■ 朝ご飯は一緒に食べることは出来ないですけど（笑）」

■ 直美さん「夫婦一緒に大変さも分かりあえるので、仕事についてのケンカは少ないかな。夫が不機嫌でも理由はだいたいわかります（笑）」

■ 最後に佐藤さんの今後の目標を教えてください。

■ 省吾さん「個人経営は自由でありつつも、責任は自分にある。新しく植えた最初の年は調子は良いんですよ。それを何年も継続させるためにも、道具に頼るだけでなく、トマト自体の本質をわかりたいと思う。就農して5年目くらいから勝負です。」

